

水害・土砂災害

に備えて情報提供や土砂災害警戒区域等の指定を進めています

1 降雨情報、河川水位情報に加えて、河川監視カメラの映像をリアルタイムに発信します。

東京都では、都内に設置している、雨量計、河川水位計の観測情報をインターネット(※1)でリアルタイムに情報提供しています。

また、平成27年出水期より河川監視カメラの映像もインターネットでリアルタイムに情報提供します(※2)。

(※1)アクセス方法
建設局ホームページの「東京都水防情報」からご覧になれます。

パソコン・スマートフォンの場合

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>

携帯の場合

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>

Twitterアカウント名

@tokyo_suibo (東京都水防Twitter)

URL https://twitter.com/tokyo_suibo

(※2)5分単位の静止画となります。



QRコード
(パソコン・スマートフォン)



QRコード
(携帯)



QRコード
(Twitter)

2 水害や土砂災害に関わる防災情報を発表しています

◆氾濫危険情報

東京都では、大雨による洪水の危険度が高い河川を「洪水予報河川」または、「水位周知河川」に指定しています。

これらの河川が溢れる恐れがある時に、氾濫危険情報を発表しています。

氾濫危険情報が発表されたら、2階などの高い場所へ避難してください。特に、地下施設は水が流れ込む恐れもありますので、十分警戒してください。

なお、平成27年3月より新たに、野川、仙川を洪水予報河川に、善福寺川、妙正寺川を水位周知河川に指定し、運用を開始しました。

詳細については建設局ホームページをご覧ください。

洪水予報河川・水位周知河川について:

http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suigai_taisaku/index/menu10.htm



◆土砂災害警戒情報

大雨により、土石流やがけ崩れの危険性が高まったと判断したときに発表します。土砂災害警戒情報が発表されたら、早めの避難を心掛けてください。

3 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定を進めています

平成26年8月豪雨により広島市北部で発生した土砂災害等を踏まえ、「土砂災害防止法」(※3)が平成26年11月に改正されました。

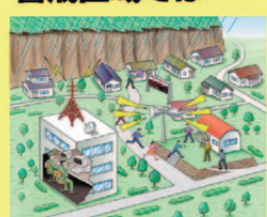
東京都建設局では、土砂災害防止法に基づき都内全域に約15,000か所と想定される土砂災害のおそれのある箇所の調査を実施し、結果を公表するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を進めています。平成27年4月現在、土砂災害警戒区域7,840か所、土砂災害特別警戒区域4,863か所を指定しており、平成31年度末の指定完了を目指しています。

○土砂災害防止法に基づく取り組み状況については建設局のホームページからご覧になれます。

http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/map/dosha_r.html

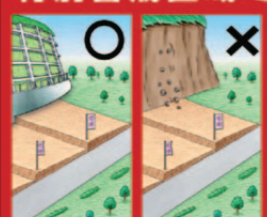
(※3)正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

警戒区域では

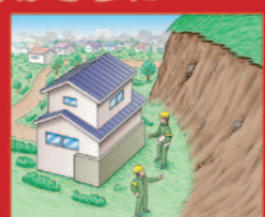


警戒避難体制の整備
土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が進められます。
【市町村】

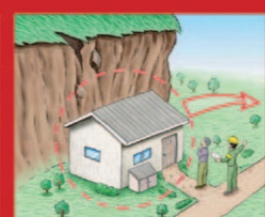
特別警戒区域ではさらに



特定の開発行為に対する許可制
住宅や店舗や工場等が密集する土砂災害危険箇所の開発行為は、基準に合ったものに限り許可されます。【都庁的】



建築物の構造規制
指定する建築物は、指定する区域に於いて建築物の構造が安全であることが確認されます。【建築主事を置く地方公共団体】



建築物の移動勧告
甚しい損傷が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移動等の勧告がなされます。【都庁的】

4 みなさんも、できることから行動しましょう

日頃からの備え

- 過去の浸水記録や浸水予想区域図(※4)により、お住まいの地域が水害に対してどの程度危険なのか、あらかじめ調べておきましょう。
- 地域の避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 食料や飲料水、懐中電灯や携帯ラジオなどの非常用品や、避難時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。
- 家族との連絡手段を決めておきましょう。



雨が降り出したら

- テレビやインターネット・携帯端末などで最新の気象や災害に関する情報を確認してください。東京都では避難判断に直結する防災情報をツイッターにより情報発信しています。(※1)
- 周囲の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所に避難してください。



(※4)建設局のホームページからご覧になれます。

過去の浸水被害：http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suigai_kiroku/kako.htm

浸水予想区域図：http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suigai_taisaku/index/menu02.htm

問い合わせ先

河川部防災課 TEL:03-5320-5431

(過去の浸水被害に関すること)河川部計画課 TEL:03-5320-5425

(浸水予想区域図に関すること)河川部計画課 TEL:03-5320-5414



『多摩動物公園のムフロンたち』

多摩動物公園 野村友宏

今年の干支は未です。ヒツジと聞いてどんな姿を思い浮かべますか？真っ白でモコモコした姿や某アニメーションのキャラクターで白黒の姿等々。ヒツジは大昔に家畜化された動物で、品種は1000種以上にもなります。多摩動物公園ではその元になった動物を飼育しています。その名をムフロンといいます。

ムフロンは茶褐色で毛も短く、とてもヒツジには見えません。逆にヤギだとか、絵本に登場するガラガラドンだとかいう声をよく耳にします。(一般にヤギには「あごヒゲ」があるが、ヒツジには無い。ヤギの尻尾はピンと上を向いているが、ヒツジは垂れている等の違いがあります。)

紀元前7千年頃から西アジアで飼育が始まり、その後世界各地に広まり、長い年月をかけて現在のよう多数の品種のヒツジが生み出されてきました。ムフロンはそのヒツジの元になった数種類の野生ヒツジのひとつで、家畜ヒツジの祖先です。

ムフロンはもっとも小型の野生ヒツジです。体高は約70cmです。地中海のコルシカ島、サルジニア島付近が原産で、山岳地帯に生息しています。

オスはカールした大きな角が特徴です。メスにはありません。秋から冬の繁殖期になるとオス同士の頭突きが盛んになります。頭突きをするとガツーンと大きな鈍い音がして、その場にいたお客さんも釘づけになるほどです。でも当のムフロン達は平気な顔をしています。

ヒツジは羊毛をはじめとして、羊肉、羊乳を人類に提供し、多大な貢献をしています。もし、ムフロンがいなかったら、このような恩恵が受けられなかった(?)かも知れません。そう考えると今までは違った目でムフロンをご覧になれるかもしれません。



~動物園の“かお”~

恩賜上野動物園 ミナミコアリクイ「あさひ」

5月1日で1歳になるミナミコアリクイの「あさひ」です。



H27.2.9撮影